

日本エコレザー対談⑤2



左から野村氏、吉村氏、稲次氏

野村 俊一氏

(有)野村製作所 代表取締役
(一社)日本皮革産業連合会 副会長

吉村 圭司氏

NPO法人日本皮革技術協会 副理事長

稲次 俊敬氏

NPO法人日本皮革技術協会 副理事長

創業98年、 緻密な職人技で作る財布・革小物の 老舗メーカーとして生き抜く

著名レディースアパレルの OEMが中心

永住町で創業しました。

その後、父の野村禮之助が、昭和26年に有限会社野村製作所を設立。私が生まれたのはその年で、後継者ができたということで、法人化したんですね。

造でしたか？

野村 そうですね。最初は男物の下請けでした。

吉村 それからレディースに変わりましたね。

稲次 創業98年ですか。それはすごい年輪ですね。

野村 30年くらい前からレディースのOEMを始めました。

野村 いや、この地域は50年から100年以上の老舗が多いんですよ。当社は決して古株のほうではない。

野村 2017年に駅ナカ専門店街に「野村製作所」という直営店を出しましたが、まだ売上げの95%はOEMです。

袋物業界で一番古いのは京都の杵儀(マズギ)さんで、ここは300年を超えています。

80年代はブランドを持っているアパレルの勢いがすごかった。イギリスのB社などもお得意様でした。この頃からOEMの需要が増えました。

野村 御徒町〜蔵前のエリア、いわゆる「かちくら」は古くからの革小物を作る職人の街で、日本一の財布・革小物の集積地です。
祖父の野村保大も台東区鳥越の革小物のメーカーさんで修行していたようです。大正12年に浅草

吉村 創業当時から革小物の製



工場内の様子



栃木市にある本社工場外観

海外生産が普通の時代、国内に踏みとどまる

吉村 栃木に工場があるんですね。

野村 90年代はグローバルの時代ということで、同業者はみな海外に出て行きました。当時、行かなかったのは当社ぐらいでしょう。英語もしゃべれないし。

でも気が付いたら、同業メーカーは職人さんを置いて、向こうに行っただけです。



本社2階のサンプル制作室

母・久子の実家である栃木市の周辺にも、残った職人さんがかなりいて、自然にここが生産拠点になりました。多い時は職人さんが100人ほどいましたね。

いまはコロナでね、みな安定志向になっているから、最近は募集掛けてもなかなか人は集まりませんが。

吉村 日本に戻ってきているメーカーさんもいるようです。

野村 注文が小ロットになったので、海外では生産できなくなっています。中国のコストもどんどん上がりました。

いまは簡単な作りのものなら、日本のほうが工賃も安いですよ。凝った作りのものは、中国に全然かなわないですけどね。

吉村 レディースのモノづくりはメンズと比べていかがですか？

野村 メンズは「これがいい」となると、定番ですつといけますが、レディースは流行がコロコロ変わります。レディースはアパレルメーカーがデザインから素材まで全部指定し

てくるのです。

当社はほとんど国産ですが、生産はベトナムでと言われれば、現地の協力工場で材料も調達して生産委託します。

レディースは、表面の色感と質感があれば、材料にはさほどこだわりません。極端に言えば、革じゃなくてもいいぐらいだから。

吉村 革財布だと製品になるまで何工程くらいありますか？

野村 財布は形は小さいのに30〜50個ものパーツで出来ています。

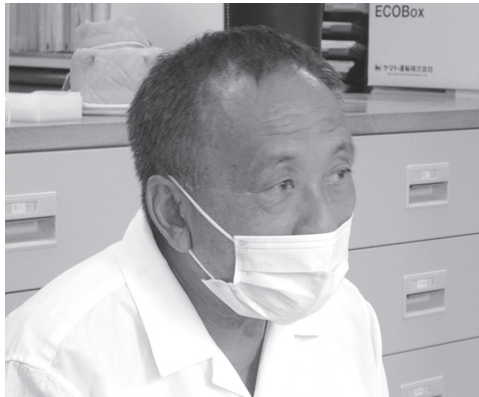
吉村 そんなに多いんですか。

野村 ちょっと想像できないですよ。

ご存知のように、財布は材料が何重にも重なる構造です。

そのため、革の厚みを繊細に調整して仕立てます。革の厚みは0.1mm以上の精度です。厚みに誤差が出るとそれが何重にもなり、製品にならなくなる。職人技ですよ。

特に昔と違って、いまはカード入りのポケットがものすごく多くなっているから、余計に神経を使いま



野村氏



吉村氏

すね。

吉村 革は野村社長が見極めて選ばれるわけですね？

野村 別の人間が選んでいます。私は好んで遊ぶからダメ、儲からないって(笑)。

小売サイドから「エコレザーで」との声が

稲次 最近、小売店のほうから「エコレザーで作れないか」という話が、あちこちで出てきています。

いままで、タンナーさんが提案しても、「売るところがない」「メーカーが関心を示さない」とよく言われましたが、小売サイドからようやくこういう話が出るようになってきました。

野村 先ほどお話ししたように、レダイスのOEMは材料指定までしてくれるから、エコレザーに接する機会が少ないですね。正直、良く知らないんですが、エコレザーは値段が高いんでしょう？

稲次 いえ、値段は普通の革と変

わりません。エコレザーだからと言って、特別な処方など不要です。

ただ、使用薬剤の選択と処方の見直しをする機会が得られるので、それがかえってコストダウンになる、と喜んでもらっているタンナーもあります。

野村 そうなんですか。だったらOEM先にお勧めすることもできますね。

稲次 もし、御社で作られた製品が海外(EU)に出されるのであれば、先方から「有害化学物質の検査をしていますか？」と必ず聞かれます。海外では有害化学物質の基準値をクリアすることが必須条件になりつつありますよ。

野村 難燃性の革とかはエコレザーに向いているのでは？

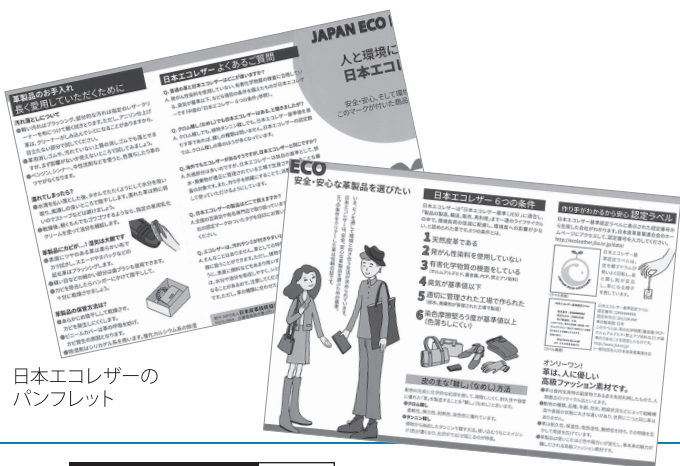
稲次 いえ、認定の基準に難燃性の項目はありません。

認定に必要な「6つの条件」(36ページ参照)を満たせば認定を取れます。いまの日本の革だと6〜7割は認定が取れると思います。日本エコレザーは染色堅ろう度

(色落ち)で厳しい基準を設けています。これが海外の基準と大きく違うところです。

野村 アパレルメーカーさんは色落ちにすごく敏感です。これは革に限らず布地などについても同じです。その辺を相手先にお伝えするといいのかな。

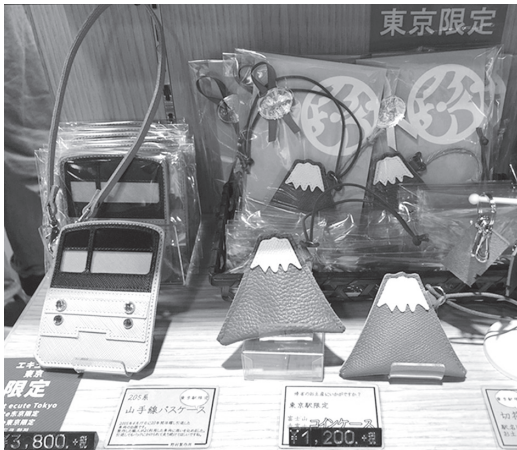
稲次 これは消費者向けのパンフレットです(左)。



日本エコレザーのパンフレット



メインはレディースの革財布



こういうおもしろいレザーグッズが直営店で人気



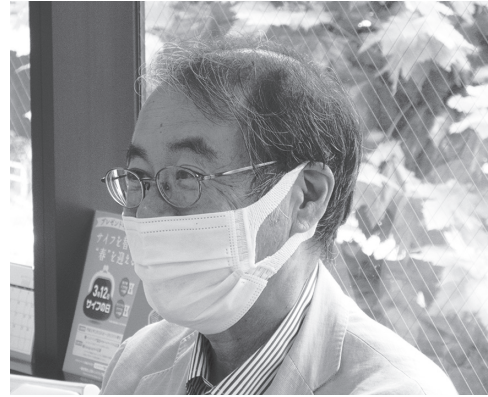
魚モチーフ



ジンバイザメのリップケース

野村 神社仏閣の土産物っていう

稲次 先に言った者勝ちですから(笑)。



稲次氏

消費者や販売員さん向けに作ったもので、日本エコレザーを使った革製品の説明用に用意しています。

靴だと靴箱に入れるのもいいでしょう。必要であれば必要枚数をご用意できます。

野村 駅ナカ直営店なら、自由にエコレザーも使えるな。エコのアピールにもいいかもしれない。

稲次 これからは売場もエコやSDGsのコーナーなどを作っていくかないといけない時代になってきています。

直営店から消費者ニーズをダイレクトにつかむ

吉村 駅ナカ直営店を出店されたのはいつですか？

野村 3年半ほど前です。駅ナカの専門店街に「野村製作所」の店名で出しました。小売にも興味があったので、催事などで勉強していたところ、鉄道会社様とご縁が繋がることができました。まだ売上げは全体の1割も行っていない。これからです。

扱っているものは全部自社製品です。財布のほか動物・魚・花をモチーフにした革小物とか。意外と占いとが縁起がらみのも

のが売れるんです。人気占い師のDさんは毎年の自宅の門の色を変えるんです。その色が今年のラッキーカラーになる。

あと、三重県伊勢市のおかげ横丁で展開している土産物コーナーにも供給しています。レザーグッズもある土産物のコーナーなどが50店舗くらいあります。

おもしろいのは、受験のお守りにサメの革が人気なんです。サメ革の表面がざらついていて「滑り止め」だって(笑)。



日本エコレザー、6つの条件

- ①天然皮革である
- ②発がん性染料を使用していない
- ③有害化学物質の検査をしている
(ホルムアルデヒド、重金属、PCP、禁止アゾ染料)
- ④臭気が基準値を満たしている
- ⑤適切に管理された工場で作られた革
(排水、廃棄物が適正に管理された工場で製造)
- ⑥染色摩擦堅ろう度が基準値以上

※これまでの「日本エコレザー対談」は、
www.japan-ecoleather.jpのトップページの
《業界情報》の項でご覧いただけます。

と、モチーフはやはり四つ足じゃなく、魚とかに落ち着くよつです。

吉村 直営店を出されて消費者の反応はどうですか。

野村 何を求めているかがストリートに伝わってきますね。

今までは中間に問屋さんが入っていたから、消費者の声というのは聞けなかった。

吉村 QRコードも入れてアピールするのもいいのでは？

野村 あ、いいね。“どんな人が作ったか”まで分かるようにしたらいい。

稲次 消費者はそういうのを好みますよね。卵や野菜なんか生産農家の顔写真と名前がポンとついているだけで、なぜか信用してしまうんですよ。品質保証でも何でもないんですけどね。

野村 QRコードに、「日本エコレザーで作りました」つて入れれば

いいんだ。

吉村 JES(日本エコレザー基準)は安全・安心の品質保証付きです。そつやつて自社ブランドのPRにも役立てれば良いと思います。

稲次 これからJES認定の革を使うことをお考えなら、いつでも言っていたければ、改めて手続きのご説明に上がります。認定取得までお手伝いしますよ。

【会社概要】

社名	(有)野村製作所
業種	財布小物製造
創業	1923年(大正12年)
設立	1951年(昭和26年)
資本金	400万円
代表者	野村俊一(としかず)
従業員	21人(パート9名含む)
主な取引先	国内アパレルブランド全般
本社	〒111-0015 東京都台東区東上野1-28-10 メゾン野村ビル TEL 03-3837-2314 FAX 03-3837-1438
営業所	〒329-4411 栃木市大平町横堀526-1
直営店	野村製作所 駅ナカ店舗
Eメール	puaa-kaukau-48h@kfy.biglobe.ne.jp
HP	http://www.nomura-purse.co.jp